一般口演（多領域専門職部門）

一般口演（多領域専門職部門）01（ II-TOR01）

座長:
本多 有利子（自治医科大学とちぎ子ども医療センター ）
Thu. Jul 7, 2016 8:40 AM - 9:20 AM 第F会場 (シンシア サウス)
II-TOR01-01～II-TOR01-05

8:40 AM - 9:20 AM

[II-TOR01-03]開心術後患者に対する非侵襲的陽圧換気(NPPV)の導入と臨床工学技士の役割

○野村 卓哉[1], 山縣 和泉[2], 山本 裕子[2], 塩野 淳子[3], 坂 有希子[4], 野間 美緒[4], 阿部 正一[4] (1.茨城県立こども病院 臨床工学科, 2.茨城県立こども病院 看護局, 3.茨城県立こども病院 小児循環器科, 4.茨城県立こども病院 心臓血管外科)
Keywords:非侵襲的陽圧換気、NPPV、臨床工学技士

【緒言】近年、小児においても NPPVによる人工呼吸管理症例が増加している。今回、当院における開心術後患者に対する NPPVの導入状況と臨床工学技士の役割について報告する。
【倫理的配慮】診療録をもとに後方視的に検討するに当たり院内研究審査委員会の承認を受けた。
【導入症例】2013年1月から2015年12月までに開心術を実施した135症例中、術後に NPPVを導入した症例は11症例(8.1%)であった。導入年齢は中央値で1歳0ヶ月(3ヶ月-13歳0ヶ月)であった。 NPPVの導入方法は、フルフェイスマスク使用が7症例、 nasalカニューレを使用した n-CPAPが3症例、陽・陰圧体外式人工呼吸器を使用した持続陰圧が1症例であった。10症例は NPPVから離脱し、1症例は在宅 NPPVへと移行した。11症例中7症例は抜管直後に NPPVを導入し、その内1症例は計画外抜管により導入した。
【臨床工学技士の役割】臨床工学技士は NPPVを導入する際の回路準備からマスク装着までを行っている。在宅 NPPVへの移行時は機種選定や回路選択に加えて、患者家族への在宅 NPPVの指導や退院に向けた車への移乗訓練などに関わっている。また、患者の成長に合わせて外来受診時や入院時にマスクの調整を行っている。院内向けには、看護師を対象とした人工呼吸器勉強会を開催している。
【考察】当院では主に臨床工学技士が NPPVの導入を行っており、医師や看護師が NPPVの導入に不慣れな場合があり NPPVを導入する際に時間を要する場合がある。また臨床工学技士の勤務時間外に抜管が行われることも多く、患者の呼吸状態悪化時に迅速な NPPVの導入体制の整備が必要である。成長段階にある小児に対する NPPVの導入では成長に合わせたマスクの調整や人工呼呼吸器の設定変更が適宜必要であり、継続した関わりも重要である。
【結語】開心術後患者における NPPVの導入は抜管直後の導入が多く、臨床工学技士は他職種と連携して迅速な NPPVの導入体制の整備が必要である。

©Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery